

松江市立城北小学校 心に残る文化財子ども塾

6月9日(金)には、松江市立城北小学校に伺いました。6年生3クラス計96名の参加です。2校時、3校時、4校時と、各クラスごとに行いました。まずは島根の遺跡や埋蔵文化財について、実物をまじえながらその特色を知ってもらった後、いよいよ今回のテーマである『奈良の大仏』の巨大さと、込められた思いです。「奈良の大仏の実物大パネル」の部品は1辺1m 四方のシート188枚。台座の部分から上へ上へとパネルは積み上がり、体育館内にみごと立派な大仏さまが完成しました。大仏についての質問もどんどん飛び出し、強く関心を持って学習に取り組んでくれました。こういう活動を通し、歴史や文化に興味を持ってくれると嬉しいですね。



▲ 金色に輝く復元銅鏡は、まさに顔がうつる「鏡」!



▲ ようやく大仏の土台と足が見えてきました。



▲ ようやく完成! その巨大さを体感。



▲ 大仏の開眼に使われた大筆の実物大です。

【学習後の感想】

- ・銅剣が 300 本もこえてみつけたのはおどろきました。あと二番目に多くみつけたのが 14 本でこれもおどろきました。銅たやくや銅剣のほんとうの色は金色にひかかってこんなひかかってたんだと思いました。
- ・上から見て、すごく大きくてすき間もなくきれいにできて、うれしかったです。あと、少しずれたときなどもすぐみんなが動いてくれて、チームワークが高まりました。
- ・体育館全体に広がるような、すごい大きいなあと実際の大きさを見て感じました。すごく楽しく勉強ができて、すごく分かりやすい説明でした。すごく楽しかったので、時間が一瞬な感じがしました。
- ・質問コーナーでは、自分の疑問やみんなの疑問をいっぱい答えてくれたのですごく勉強になったし、教科書にのっていないこともいっぱい教えてもらったので良かったです。

松江市立城北小学校6年生の皆さん、先生方、ありがとうございました!